

鳥取県原子力防災(島根原子力発電所対応)図上訓練大綱(案)

2014/11/25

【背景】

- ・10/18合同訓練は住民避難等の実動を中心に実施
→対策本部機能班の初動対応について図上訓練を実施

1 目的(今年度目標)

- ・対策本部事務局の各機能班の初動対応、体制・役割分担、業務の流れ等を確認し、訓練での活動を通じて練度を向上
- ・今回の準備を通して、図上訓練の企画実施のノウハウ習得
- ・各部局間の連携の確認

ねらい	達成目標
①災害対策本部等の体制確認	本部マニュアルの検証、業務の平準化、動員体制の検証
②広域避難計画と細部計画との整合性確認	記載内容、手順等の齟齬の抽出
③時系列で各計画の対応(手順フロー)の確認及び課題の抽出	事態の進展に応じた機能班の役割の確認、各機能班間の連絡、連携体制の確認

- ## 2 日時・場所
- 平成27年2月上旬(目途)
県庁災害対策本部室(公開)

3 編成等(編成及び訓練参加者)

- ・対策本部については、班編成に基づき、業務を担う。
- ・米子市、境港市は、ホームステーション訓練(各執務場所に参加)とし、県からの情報伝達をもって状況付与とする。
- ・鳥根県の協力も得て実施する(通信・連絡等)。鳥根のFC、衛生環境研究所は、コントローラーとして参加する。

4 訓練の流れ

鳥根原子力発電所において、トラブル発生(訓練開始)。警戒事態(EAL1)～施設敷地緊急事態(EAL2)に進展し、災害対策本部を立ち上げ、各機能班が活動を実施(本部会議の開催準備までの状況付与)

- ① トラブル(警戒事象)発生
- ② 警戒本部会議の開催
- ③ 施設敷地緊急事態に進展
- ④ 対策本部立上げ～開催準備

5 訓練評価

外部評価、参加者アンケート

6 その他

- 12月上旬 開催通知及び概要説明会の開催
- 1月下旬 事前説明会
- 2月中旬 ふりかえり → 各計画の修正